

令和7年度当初予算の内容② 《スクラップ編》



「**今**」と「**将来**」のための**ビルド**事業の説明に
続いて「**財政の健全性**」の確保について説明
するで！

確か**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）と
スクラップ（既存事業の見直し）はセットだっ
たよね！

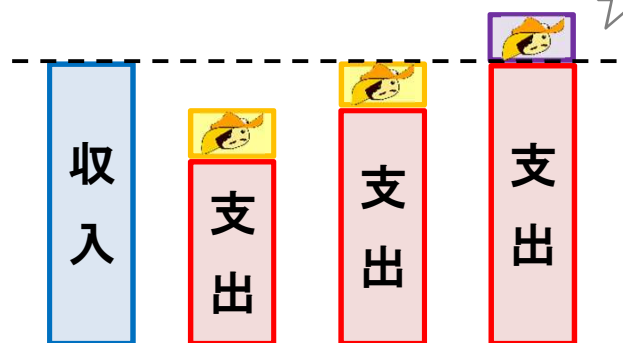


そのとおり！**ビルド**（新規事業の実施、既存事業の充実）で新たな財源が必要になる分、**スクラップ**（既存事業の見直し）で財源を確保しないと支出だけが増えてしまって「**財政の健全性**」を確保できなくなってしまうんだよ。



◎ビルドだけだと…

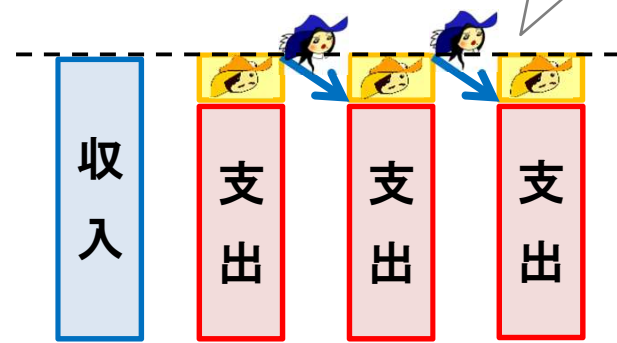
-  ビルドによる新たな経費
-  財源が不足する経費



◎ビルドとスクラップが
ちとなら…

→ スクラップによる
財源の確保

収支のバランスも
取れた予算に！



左の図のように、**ビルド**だけやと収入以上の支出になって財源が不足するけど、右の図のように、一緒に**スクラップ**することで市民サービスの充実を図りながら、収支のバランスを取ることができるねん。



ってことは、令和7年度予算の編成時
にも**スクラップ**に取り組んだのね！

既存事業の見直しは、時代に適した内容
になるようにサービスを活性化させるこ
とにもつながるから、とてもいいことな
んだよ。



ほな、令和7年度の予算編成で
取り組んだ内容を紹介するで！





まずはじめに、スクラップ言うても、
こんなふういろんな方法があるねん。

スクラップによる財源の確保

サービスの廃止・縮小

実施方法の変更

経費の抑制

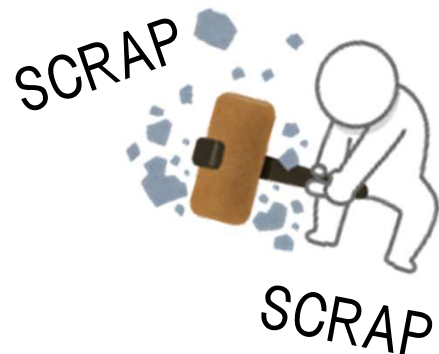
歳入の確保

単純にサービスを止めてしまう
だけじゃないのよね。





令和7年度予算編成でも、
多くのスクラップに取り組んだで。



例えば、「**サービスの廃止・縮小**」として、
学校の情報処理教室のICT機器を見直したり
(8,144万円減) してん。
合計で約1億2,699万円の見直しになるで。

実情に沿って廃止や縮小すれば、
コストが削減できるもんね♪





次は「**実施方法の変更**」。
普段からサービスの効率化を意識したり、
必要性を検証したりしながら業務に取り組ん
だ結果、経費を見直せたものが多いねん。

令和7年度は、私立保育所等運営補助金
の見直し（4,106万円減） などがあるで



「最少の経費で最大の効果」を発揮する
ために、常日頃から効率的な実施方法を
検討しているんだ。約1億1,277万円も
見直しているよ。





そして「**経費の抑制**」。
これも実施方法の変更と同様に、効率化を
図ったり、実情に沿って見直すことやで。

集団検診実施回数等をこれまでの実
績を踏まえて精査することで、
約458万円も削減してん。



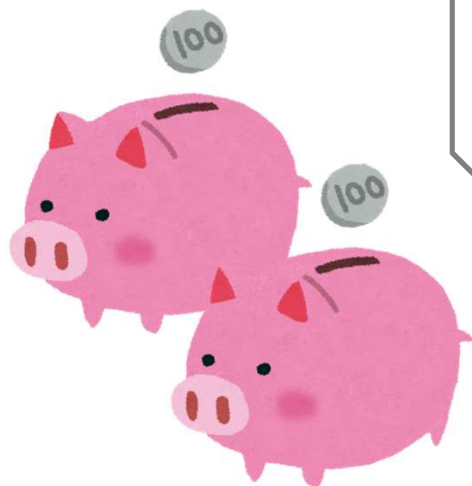
必要に応じて見直せば、新たな
サービスの財源になるのね！





最後は「**歳入の確保**」。
サービスを見直して支出を抑制するだけ
やなく、利用の適正化や収入を増やして
財源を確保する方法やで。

令和7年度は、ダムパークいばきたの公園使
用料等が増えて約5,605万円歳入を確保でき
てんで。



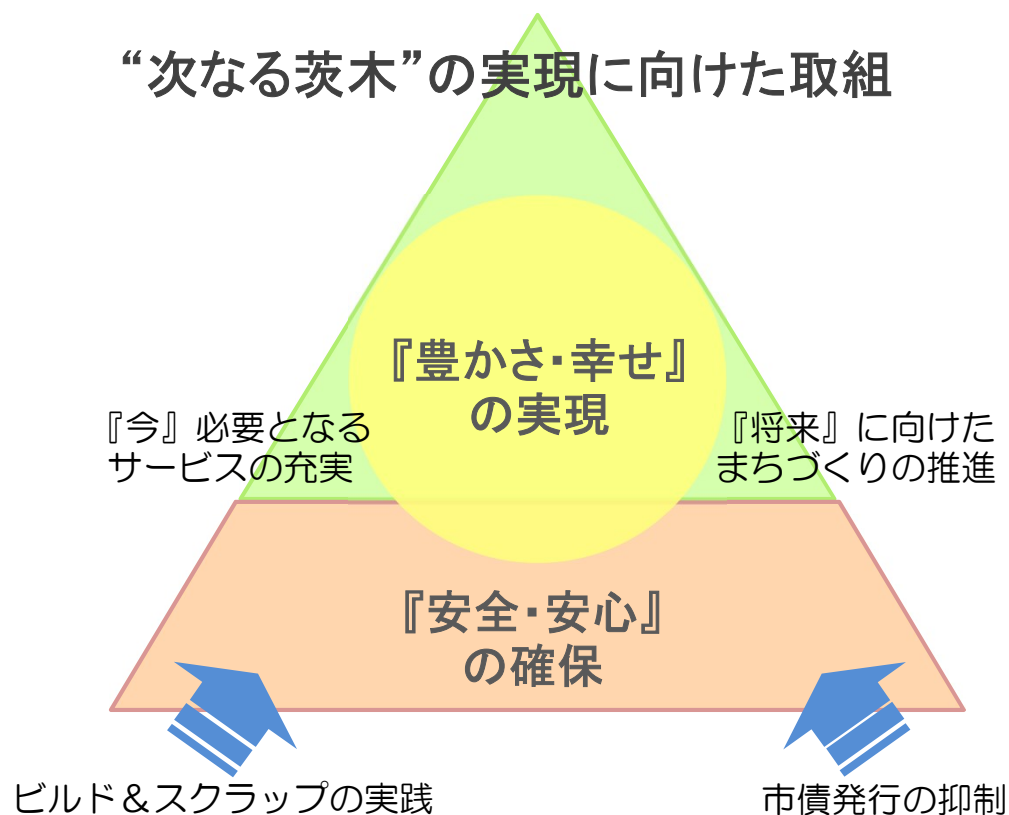
工夫を凝らした歳入の確保等にも
取り組んでいるんだね！





「財政の健全性」の確保には、
ビルド&スクラップの実践のほかにも、
ハード事業を適切に選択して市債（借
金）を抑制をする方法もあるんだよ。
市債の償還費用が、将来世代に重くのし
かからないようにしないとね。

“次なる茨木”の実現に向けた取組



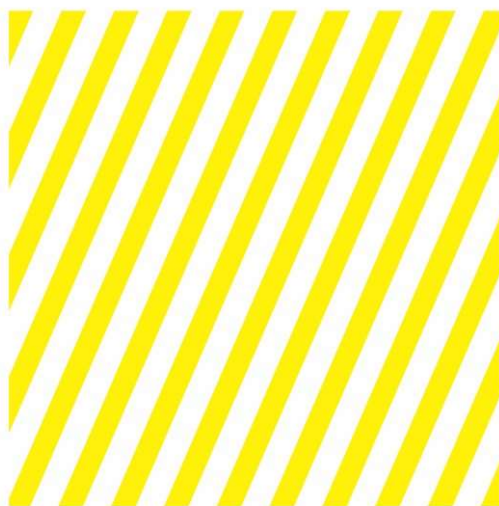
健全化の取組みによって、
将来にわたる健全財政を
確保してるのね！



令和7年度も「**財政の健全性**」を確保して「**次なる茨木**」に向かって進んでいこう！



次なる
茨木へ。



茨木には、次がある。

